(第三種郵便物認可　昭和十二年一月一日)

協調

發行人　町田辰次郎
印刷人　坂本直茂
東京市芝區愛宕町三丁目三番地
印刷所　川口印刷所
東京市芝區愛宕町三丁目三番地
發行所　協調會
振替口座東京五三一二五番
毎月一回十五日發行
定價一部金五錢

年頭御挨拶

協調會々長　公爵　德川家達

我國が近來稀に見る非常時局に際會してゐることは皆様御承知の通りで御座います。この難局を打開致しますには、たゞ各人が協調の精神に則つて、國家の目的を實現する爲に協力するより外に途はないのであります。單に産業界のみならず社會生活の全分野に亘つて協調精神の發露が今日ほど痛感される時はないのであります。

個人生活に於ける同様に國家生活に於ても協調が必要でありまず。併しながらその協調は自國の利益と云ふ見地からではなく、世界人類の幸福と云ふ見地に立つので御座います。國家は世界の發展の爲に協調し個人は國家の發展の爲に協調するのであります。

朝野の各位はよろしく國家の向ふべきところを把握し、日本の正しき發展の爲に協力されんことを望む次第で御座います。

勞資關係の調整と勞働委員會制度

常務理事　長岡保太郎

とう〳〵南京も陥落した。皇軍の威力には、たゞ〳〵感嘆の外はない。この際國民としてその辛苦に深き感謝を捧げねばならない。しかし、銃後を護る國民としては、これで安心してはならない褌を締めてかゝるのは寧ろ今後である。

それにしても、私は我國力の偉大なことを今更ながらつく〳〵と感ずる。事變下の萬事がそうであるやうに、勞資關係の推移も洵に順調である。併つては機烈を極めた階級闘爭主義が消滅されて産業協力、勞資一體主義が強調され殆んど例外なく勞資協調の大道に歸一するに至つた。これは時難に際會して本然の相が現はれたのであつて、我が國民性の當然の歸結とも云ふべきであらう。この美しい狀態をたゞ單に事變中だけに終らせたくない。いや終らせてはならない。事變後もずつと繼續せしめねばならぬ、と云ふことは心ある人々の均しく考へるところであらう。それにあらぬか從來識者の間に重大な關心を持たれて居る處の所謂勞資關係調整の方策に關する諸問題が、時局の進展に伴つて各方面で一層活潑に論議せられるやうになつた。その中には管に提案されるばかりでなく、實行に移されてゐるものもある。而してその提案されてゐる方策なり制度なりは、勿論多種多様であつて、一様ではないが、概して云へば工場、鑛山單位の勞資懇談會或は委員會を始めとし一層廣範圍の地方的乃至全國的懇談會或は委員會に關するものが多いやうである。そしてそれらの提案は殆んど全部上述の如き時局認識の下に、産業協力勞資協調を目標とするもので、その根本精神たる倫理的目的に對しては全然同感に堪えない次第である。

一體工場委員會や勞資懇談會の如き仕組の普及發達については、私共も上述の如き道義的倫理的目標の下に年來陰々努力して來たのである。從つてその正常なる發達については双手を擧げて欣ぶのであるが、それと共に所謂勞資委員會制度の運用に當つては各場合に應じて適切妥當な方法を講ずる樣に慎重なる考慮を要するのである。

こゝには、それらの點について詳述する迶はないが、要するに、勞資委員會は屈主と被傭勞働者とが人格を敬重し合ひ、相互に責任を盡して、円満なる和の關係を培ひその上に立つて國家産業の發展を期し勞資の共同福祉の伸張を図らうとする制度であつて、和を本とする我國柄の下に於ては、此の制度の將來は相當大なる期待がかけられて然るべきだと思ふ。且つ又一方に於ては勞働組合の實力も年々増大して來て居るのであり、その實力が伸びるに伴ふて、勞資の對立關係が緊張せんとする傾向あることは申すまでもないことであり、勞資間の緊張せんとする對立關係を、たゞちず、又、どこまでも円滑にして行くことが大切であるがそのためにもこの制度の重要性が十分に考へられねばならぬ。

試みに此制度と勞働組合との關係を考へて見ると差し當り次の三つの場合が豫想される。

一、閉付工場單獨組合の場合

二、一部從業員が勞働組合に加入し其他は加入せざる場合

三、二つ以上の勞働組合が對立併存する場合

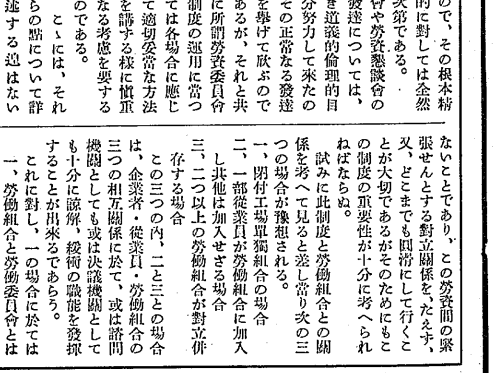
この三つの内、二と三との場合は、企業者・從業員・勞働組合の三つの相互關係に於て、或は諸問機關としても或は決議機關としても十分に諒解、綏衝の職能を發揮することが出來るであらう。

これに對し、一の場合に於ては一、勞働組合と勞働委員會とはその主要の職能が大體同じであるために無用の摩擦が生ずること

二、その摩擦をさけるため重要なる勞働條件は勞働組合との間に協約し、其他の事項について委員が活動すること

三、勞働組合と協約するための準備機關として乃至その監督機關として活動する

これ等のことは現に各事業夫々事情を異にするに伴ふて歩趨するところを異にしてゐるのである。更らに勞働組合の關係を除外して考へずに事項が極めて多いのであるが、要するに趣意は如何に結構なことでも、その實際の運用を誤るならば百害あつて一利なしの譬通りである。その實行に當つては本制度の現實的な意義及價値が奈邊にあるかを十分に研究されんことを希望して止まない次第である。



謹賀新年　職員一同

(第三種郵便物認可　昭和十二年一月七日)

協調會ニュース

◇人事

役員異動

評議員、常議員、理事　神戸正雄

右任期滿了ノ處重任

職員異動

參事　大内經雄
社會政策學院主事ヲ兼ズ　林直通
參事ヲ命ズ
産業組織利部調査ヲ命ズ　參事　山上榊蔵
顧ニ依リ參事ヲ免ズ
山上參事榊蔵

永年本會に在職、最近は社會政策學院主事として幾多功績を貽された參事山上榊蔵氏は今回退職せられ、富山市不二越鋼材工業株式會社に入社、同社の庶務部長に榊任せられた。

本會の顧問者

待望の顧問者が一度に二人も出て本會も愈々事變色濃厚である。調査部張託鈴木規一氏は十一月二十一日夜上野出立、二十四日〇〇聯隊に、社會政策學院顧問田實氏は十一月十五日〇〇聯隊に夫々入營せられた。

東京本部

○戰時勞働對策懇談會

去る十一月十五日協調會會議室に於て第四回會を開催し、主として戰後の勞働對策に就て、懇談した。最初渡邊議員研究所長より戰傷者の取扱に關し報告があり、續いて山崎社會部長より社會局の方針に就て述べ、吉政俊蔵氏、沼越監督課長、金井勞政課長代理の諸氏より役員の問題、思想對策に就き夫々意見の發表があつて懇談に移つた。

（別項戰後の勞働政策の項參照）

出席者芳名（順序不同）

山崎巍、社會局）、井出事務官（社會局）、山田義正（同）（社會局）、栗原榮龍會（全電）、山田秀三（全組協）、栗原榮龍會（全電）、伊藤保次郎代理（三菱鑛業）、深川正夫（三井鑛山）、渡邊次郎（日本製鐵）、中田藏二（日本石油）、濱政徳（蓬莱研究所）、渡邊泰球（住友本社）、金井元喜（社會局）、山田榮一（富士瓦斯紡績）、町田辰次郎（協調會）、長岡保太郎（協調會）の諸氏

社會政策研究會

十一月十八日本會々議室に於て開催勞働時間問題に關し、前回に引續き討議、同問題の歴史的且つ國際的な動向に就き、國際勞働局東京支局長鮎澤巍氏より詳細なる研究發表あり、次で國際勞働局の機能の問題を綜り盛なる質疑應答を見た。

長野縣榮養講習會

長野縣上高井郡須坂町昭和製絲株式會社須坂工場に於て十一月十日より四日間講習會を開催、本會より桂田あや女史出張講義及實地指導を行つた。

フイルム利用狀況

先づ榮養　一卷　東京府衛生課
十六ミリ
打てよ魂　六卷　埼玉工業懇話會
打てよ魂　六卷　農林省山林局
安全職線　四卷　同
打てよ魂　六卷　長野縣工場懇話會
安全職線　四卷　長野縣工場懇話會
打てよ魂　六卷　岡山縣工場協會
トーキー出張映寫

十月二十八日　打てよ魂　社會政策學院
十一月十二日　打てよ魂　長野縣上諏訪

第四十三回産業衛生研究會

十一月十五日本會館講堂に於て開催社會局技師武田晴彌氏より最近に於ける工場災害の動向に就て講演を聴き、(1)醫學上より見たる災害の原因に關し、(2)醫學上より見たる災害の豫防、(3)安全委員會の各項に分つて協議を爲した。出席者百名の盛況を呈した。

協調會圖書館

十一月中に於ける閲覧者延人員は一一五名、内本會職員二七名、官公吏二二名、會社工場職員二三名、研究團體調査員一六名、勞働組合關係者五名、教授學生生徒名、其の他一五名の内譯である。

開館日數　二四日間

大阪支所

社會問題講座、茜會合同講演會

社會問題講座、茜會合同で、十一月五日、國民會館小講堂に於て、奥むめお氏の「婦人問題」の講演を聴講、社會問題講座講習生六十名、茜會々員四十名の出席を見た。

勞務管理研究會、社會問題講座合同講演會

勞務管理研究會、社會問題講座に於ては、十一月五日國民會館小講堂に於て、合同で吉阪俊蔵氏の「海外働事情」を聴講英、米、獨、佛、伊、ソ聯等歐米諸國に於ける勞働事情の詳細なる說明を受けた。出席者勞務管理研究會々員十名、講習生五十名である。

社會問題講座映畫會

第四回社會問題講座に於ては、十一月十二日、國民會館大講堂に於て、十一會作品の映畫「打てよ魂」六卷を映寫、六十名の講習生の觀覧に供し、好評を博した。

友の會、茜會十一月例會

友の會、茜會では、十一月十七日國民會館小講堂に於て、十一月例會を開催、大阪市立今宮保護所主任都井武作氏より「どん底の人々」なる演題の下に、前回に引續き浮浪者の生活に就て詳細なる講演を聴いた。出席者七十名。

茜會講演會

茜會に於ては十一月十七日國民會館小講堂に於て「日本精神の本質」に就き神野岩三郎氏の講演を承けた。出席者五十名。國民精神總動員の折柄啓發される所多かつた。

大阪民舞體操講習會

本會支所、國民舞民舞體操研究會、大阪府工場衛生研究會共同主催にて十一月二日大阪府自新館社會講堂に於て開催、本會幾谷赤間雅彦氏を講師に「軍歌、「産業歌體操」のいづれも時局にふさはしい民舞體操につき夫々指導を受けた。出席者百名に達する盛會であつた。

京都民舞體操講習會

關西民舞體操研究會京都支部に於ては、十一月二日、西陣織物商業組合講堂に於て「産業歌體操」及「産業歌舞體操」につき本會幾谷赤間雅彦氏より夫々講習を受けた。參加者は鐘淵紡績京都工場外十三工場約五十名である。

開國民舞體操十一月例會

十一月十九日、大阪青年熟堂に於て開催、大阪府工場衛生研究會體育指導員井上光氏を講師に「旗は日の丸」の民舞體操の講習を受けた。出席者六十名。

名古屋出張所

岡崎體育大會

健康保險團組出張所主催第三回健康保險被保險者岡崎體育大會は十月二十四日岡崎市岡崎公園に於て開催、日本レーヨン、日清レーヨン、三龍社、日清紡績株式會社其の他五千名が參加した。本會出張所に於ては此の催を後援し、優勝旗二個を寄贈した。

榮養改善講習會

愛知縣三河部工場食改善の爲め同縣豐橋健康保險出張所、岡崎市、本會出張所共同主催で十一月十四、十五兩日に亘り岡崎市立高等女學校に於て榮養改善講習會を催した。十四日は國立榮養研究所長隈博佐伯矩氏並びに名古屋市衛生試驗所技師黒田理氏の講演、同研究所榮本會編注田あや子女史の實習があつた。十五日は名古屋隈大教授、榮養社會局技師鮎澤吉氏の榮養保健に關する講演、住田女史より實習を受けた。兩日を通じて聽講者百二十名、實習參加者七名の盛況であつた。

共同炊事所指導

藤井團組健康保險出張所長、大澤本會出張所長路旋う三河部所在の共同炊事所に對し佐伯榮養研究所長、名古屋衛生試驗所黒田技師が適切なる現場指導をされた。

一、西尾共同炊事所　醋豆部西尾町織物組合　給食數　六〇〇個

一、淵郡共同炊事所　習俗郡淵郡町織物組合　給食數　四〇〇個

一、三谷共同炊事所　賀俗郡三谷町織物同榮組合　給食數　一四〇〇個

編輯後記

○「時局倒感」に就ては渡邊氏の勞務管理に對する基本の努力と熱意とが親はれる、渡邊氏の知き人々によつて人的資源が管理せられて居る限り銃後の備は安泰である。

○我國の勞資調整の鍵は勞資の道義的提携である。町田常務理事の談は、いつもながら鶴に同感の中核に突き入る。

○南京陥落の報來たる！淵島氏執筆の「銃後の勞働政策」が今後の問題に就て指示する所のものは明快適切である。

○勞務管理と計畫經濟の協力を說く廣崎氏、氏の觀察に対して始めて具體事實に即した此の眼目を爲し得る。

○本號は本年の結號である。其の本號の全員を通じて、勞務管理の國家社會性が期せずして强調せられた。其眼の士は、ひとり此の問題に限らず、産業勞働全般の問題を通じて、新らしきものゝ胎動を看過する事は出來ぬであらう。（小泥）